

幼馴染は親父の彼女・姉



優しく慰めてくれた
幼馴染も...

親父とSEXしていた...

R-18
成人向け

カラーコミック32P

幼馴染は親父の彼女 のでできごと

隣の家の幼馴染の美人姉妹、陽葵、紬、凛
そんな彼女達と友達以上恋人未満の仲の主人公

三人の中の誰かとそのうち恋仲になるのだろうと
モラトリアムを楽しんでいた

そんなある日、同級生の幼馴染、陽葵を
ちょっとした行き違いから泣かせてしまう


すぐに仲直りをしたことで安心して
数日後...

父親の部屋から聞き覚えの
ある声が喘ぎ声が漏れてくる

盗撮までして父親の部屋を確認した結果
幼馴染が父親と絡み合い繋がっていた



あれからずっと
2人の喘ぎ声がフラフラして
思わず吐きそうになる



もしあの時
俺が直ぐに追いかけていたら
何か変わったのだろうか？



陽葵と仲直りして付き合って
セックスして…
そんな未来があったのだろうか？

後悔が頭をぐるぐる回って動けない
もう何も考えたくない
だが、考えない様にとすればする程
後悔が押し寄せてきて心を抉っていく…

ヤマト…
入るわよ…

ちよ…ねえヤマト…
大丈夫？

声の主の方へ顔をあげると
姉さんが心配そうにこちらを覗き込んでいた

だって、凄い顔色が良くないわよ？
何処か具合が悪いんじゃない？
病院に行く？

ああ姉さん…大丈夫…ありがとう…

スン…

こんな俺の事を本気で心配してくれている
その事実が嬉しくて思わず泣きそうになる

ぎゅっ

大丈夫：
多分疲れてるだけだから…ありがとう

病気じゃないなら…
何か…悩みでもあるの？

えっ？なんでっ？

ギョッ

なんでって…
凄い辛そうな顔してるよ…

……

どうしよう？
全て話してしまおうか？
でも言ってもどうなる？

ドクドク…

ドクドク

ただ姉姉さんを苦しめ
るだけじゃないか？
こんな思いをするのは
俺だけでいいだろ…

ニッコ

ホント大丈夫…
もう大丈夫だから…

…そう

…でも何かあったら直ぐに言ってね
…できる限り力になるから…

それじゃあ…今はしっかり休んでね…
おやすみなさい

よしよし

ありがとう…姉さん
おやすみ…

俺にはまだ姉さんがいる
暖かい手のぬくもりに身を任せて眠りについた

数日後

わかってから見ると
陽葵と親父の2人は明らかに
意味深な目配せをしている

ずい...

ずい

ニヤニヤ

バレてないと思っ
ているのか
日常の中でボ
ディタッチが
増えていた

ドキ

ドキ
ドキ

すり

すり



だが、俺はそんな2人の前でも
平静を装って過ごすことが出来た

もちろん気にならない
わけじゃなかったが…



俺には紬姉さんがついてる
力になってくれると言ってくれた

その言葉だけでどんな事
にも耐えられる気がした



今までは陽葵と過ごしていた時間を
全て紬姉さんと過ごすことに使おう

一緒に下校したり買い物に行ったり
2人の時間を共有していくんだ



ちよつと先生に用事が…
また今度ね…

ササ



ごめんねヤマト…
ちよつと委員会が…

そう思っていたのに…
今度は姉姉さんと予定が合わない日が徐々に増えていった



また今度…

そっか…

した!



そんな中
やっと一緒に帰宅できた
ある日放課後



明日休みだしさ…
良かったらこの後
2人で何処かいかない？

ごめんねヤマト…
この後は…
ちよつと用事があつて…

どこかいくの？
良かったら付き合うけど？

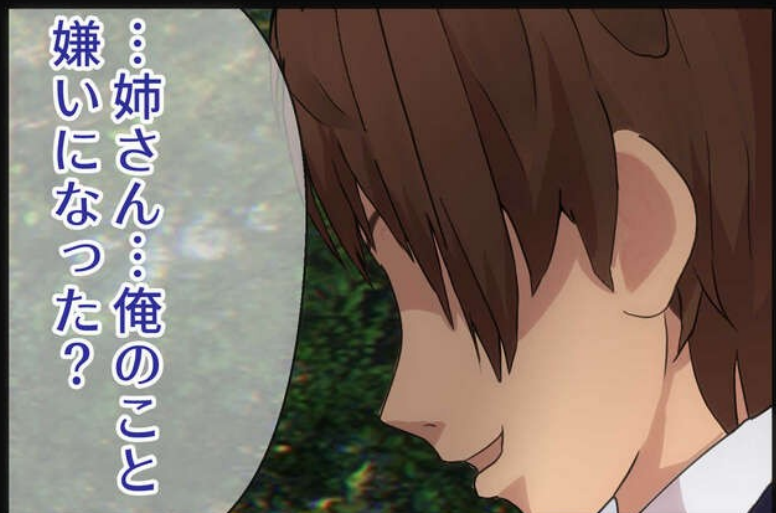


…そっか



ああ…大丈夫よ…

…ホント…個人的な用だから…



…姉さん…俺のこと
嫌いになった？

紬姉さんとは学年も違
うし、普段からそこまで
ずっと一緒にいたわけ
でもなかったし、仕方
ないかと思っっていたけど

最近は予定が合わない
目が多すぎる

それにこの対応…
間違いなく避けられている

急にどうしたの？
そんなわけないじゃない

お姉ちゃんはいっだって
ヤマトのことが大好きよ

きよとん

じゃあなんで
避けるんだよっ！

別にいいんだ…
嫌いなら嫌いでも…
ただちゃんと姉さんの
口から聞きたいんだ…

なぜ
なぜ

…ごめんねヤマト…
避けてたわけじゃないの…

ただ本当に今はやる
ことがあるだけなの…
さつきも言ったけど…
お姉ちゃんはヤマトが大好きだよ

そう言われたら、俺にはもう
答えを迫ることはできなかった
姉さんも陽葵の事を俺に追求
しなかったんだから、俺も無闇
に聞き出すべきじゃない…

姉さんが話したくなかった時に
頼れるようにすればそれでいい

…怒鳴ってごめん…
でも何かあったら直ぐに言っ
てね…
できる限り力になるから…

ありがとうヤマト…
今度時間が出来たら2人で出
かけましょう？

ねっ？





…お姉ちゃん頑張るから…

俺は次の約束を取り付けた
ことで、浮かれに浮かれていた

うん…またね…

うっうん、わかった…また今度…

そのことを後悔
するのは
すぐ後のことだった

帰ってから部屋で1人、次の
デートプランをああでもない
こうでもない妄想している
と、親父が声をかけてきた

ヤマト…お父さん
ちよつと用があるから
でてくるよ



えっ？ああ…
ちよつと知り合いと会ってくる
飯はいらないから…

ギクッ



おう…何処行くの？

どうせ陽葵とデート
でもしに行くんだろ？

スフ…



妙に歯切れが悪いし
やっぱりそうなんだ
ろうな

おう…いつてら…

俺は勤めて平静を
装って返答した



自分の中で割り切つ
たつもりだったが
やはりモヤモヤと
した気持ちは湧いてくる

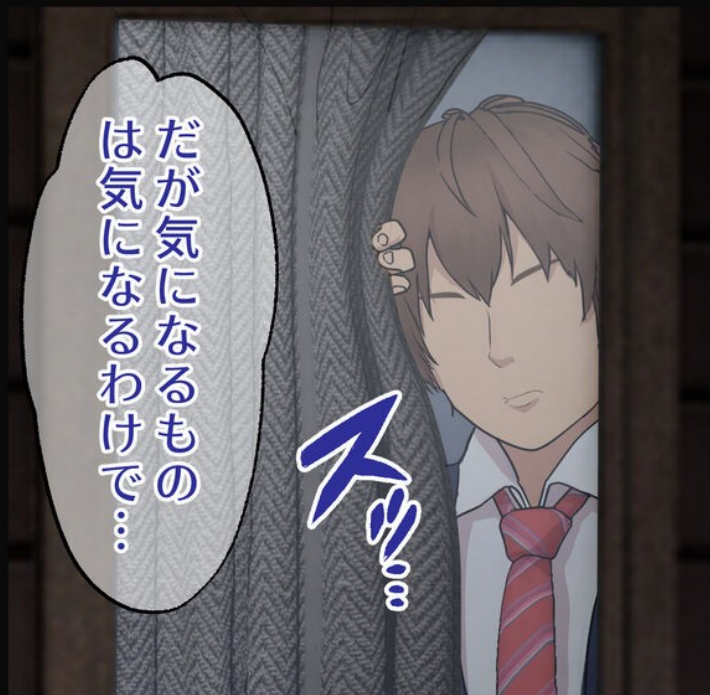
トッ…

大丈夫…
俺には姉さんがいる



...は?

そこにいるはずの
無い人間がいる...



だが気になるものは
気になるわけで...

スズ...



姉さんだった...

フオー

は？

は？

は？

フオオ〜

意味が
わからない

だって親父は
陽葵と付き合
っているんだろ？

：いやいやいや：親父と姉さん
が出来てるとか有り得ないだろ

きっと車で送って欲しかったとか
そんなところだろ：
そうだ、そうにきまってる

自分にそう言い聞かせる…
そう言い聞かせることしか出来なかった

深夜

カチャカチャ

キーン...

バン

帰ってきた親父は早々に自分の部屋に戻った
誰かを連れ込んだ様子もない

目は又がなかったんだから
きつとホテルには行っていないはずだ

ガガガ

姉さんと親父で間違い
なんて起こるわけがない

いや...
そんな確証はどこにもない
俺の希望的願望でしかない

ぐるぐると回る思考のなかで
ふと気づいた...

ドライブレコーダーを見れば
どこで何をしていたかわかる
んじゃないか？
アレには車内の録画機能もあ
ったはずだ...
確認すればこの憂いを断つ
事が出来る

何も無かったという
確証が欲しかった

車からドラレコのSDカードを
引っっこ抜いてPCで再生する

大丈夫大丈夫大丈夫……

車に乗り込んだ
2人は発車して暫くは
たわいない近況を
話し合っている

そう言えば、さっきヤマトと
出かける約束をしてきたんです
ヤマトったら嬉しそうにして……

ほら見る、2人はそんな
やましい関係なんかじゃ
ないんだ

お姉ちゃんっ子に育ってくれて
こっちも嬉しくなっちゃいました

こんな綺麗な姉だったら
俺も欲しかったなよ

2人で出かけるのかい？
ちよつと妬けちゃうな…

どうだ親父

俺と姉さんは両思いなんだ
俺が姉さんを…

ふふふっ♡
ヤマトは弟みたいなものですよ？

…嘘だろ？だって…
姉さん…俺が大好き
だって…

でも義雄さんが嫌なら…
断っちゃういますね♡

それは…流石にヤマト
に悪いよ
ただちよつと俺以外の
男といたら嫌だなあって…

ニヤニヤ



あらあら♡

そんな寂しがり屋
さんはいっぱい
いい子いい子して
あげなきやですね？



キキッ
キキッ

ゴッ



すり

すり

清廉だと信じて
疑っていなかっ
た姉さんの行動に
思わず目を疑った



オロ
オロ...

ええ？だって私は貴方のモノだよって
ココに教えてあげないと...

いや信号変わったから...

ちよちよちよつ
...紬ちゃん...ダメだよ
こんなところで...

でもこの子はナデナデされて
嬉しそうですよ？♡

そりゃ嬉しいけど...



ふふふっ♡
ごめんなさい♡
悪戯が過ぎちゃ
いました♡
また後ですっね♡

ひゅいっ



プーッ

キキッ

辺りが暗くなり始めたころ、人通りのないだろう
田舎道まで来ると、親父が何処かの路肩に車を
停めた
幸か不幸かレコーダーが止まる事は無かった



さっきは焦ったよ

ごめんなさい♡

でもこの子がずうつとお外に出たがってたから…

すり

すり

なぜ
なぜ

ほらあ♡
すっごい臭い…♡

すん
すん

ほんと細ちゃんはチンコの臭いが好きだよ

むわあ

もう…誰のせいだと思ってるんですか？
毎回私に綺麗にさせてる癖に♡

くちゅ
くちゅ

ごめんごめん♡
細ちゃんが俺のモノに染まっていく実感が嬉しくてさ

っん

っん



ハア 舌が纏わりついて…
気持ちいい♡



ああくっさ♡
皮の間じゅうばい溜まってる♡

もう…独占欲が強いんだから♡
じやあ今日も義雄さんの
チンカス証明書塗り込んでくださいね♡



おおそんなに吸い付いたらっ

がまんしないね…
びゅっびゅっしてくらはいね♡…





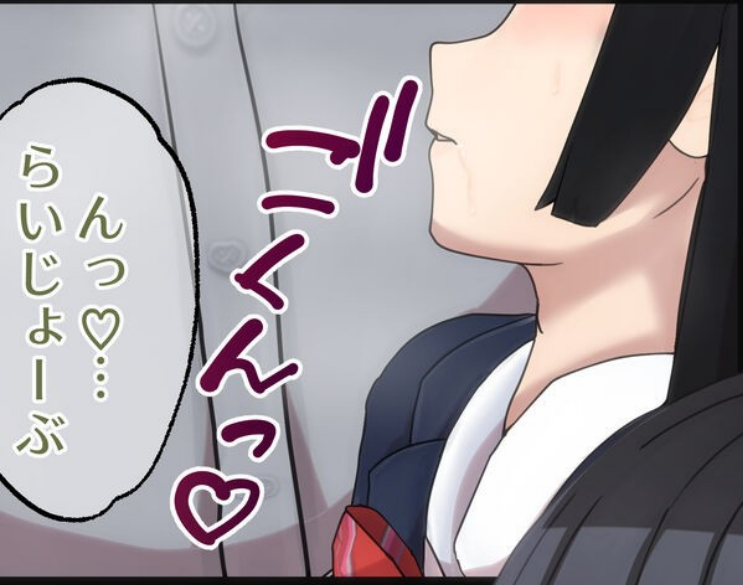
無理しないで
いいからね

くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡



グチユグチユ♡

くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡



んっ♡…
らいじよーぶ

グチユ♡
グチユ♡
グチユ♡



ご馳走様でした♡

んっ♡…
んっ♡…

おっ♡
おっ♡
おっ♡

ありがとうすごく良かったよ

はあっ

ふうっ

ふうっ

ふうっ

でもまだまだ元気ですね♡
次はおまんこで搾り取って
あげますから♡

くちゅっ

くちゅっ♡

でも…こんなところで
良かったの？
今からでもちやんと
ホテルに行っても
いいんだよ？

それに…普段と違う場所でするのでちよつと興奮しませんか？

とろろ…♡

はははっ
さてはそれが狙いだなあ
紬ちゃんはえっちななあ

いいんです
ヤマトの学費とかでまだまだ
お金かかるでしょう？
節約出来る時はしておかないと

ぬぎ

ぬぎ

まあ…そうだけど…

違いますよお♡
ただ、ヤルなら目一杯楽しみましょう？♡

ドキ♡

ドキ♡

きゃん♡

きゃん♡

そうだね♡それじゃあ挿入るよ♡

雄々しく剃り立った
親父のチンコを
姉さんの愛液まみれの
マンコご飲み込んでいく



おほっ♡おっ♡ほっ♡

おっ♡おっ♡ほっ♡

きたあ♡
義雄さんのおちんぽで
奥つまでいっぱい♡



俺がそこに入れる筈だったのに
なんで…なんでなんだよ…

おっ♡おっ♡ほっ♡

凄い気持ちいいよ♡
挿入ただけで射精ちやいそう



ふふっ♡
我慢しないで良いんですよ？

溜まったのゼーンが
私の中に吐き出してください♡

全く♡
ならお望み通り好きにさせて貰うからなっ♡

あっ♡あっんっ♡

いきなりっ♡激しいっ♡

子宮口突き上げるのっは♡駄目っ♡

はっ、はっ、はっ

はあ

ぞくぞく
ぞくぞく

くちゅっ

くちゅっ♡

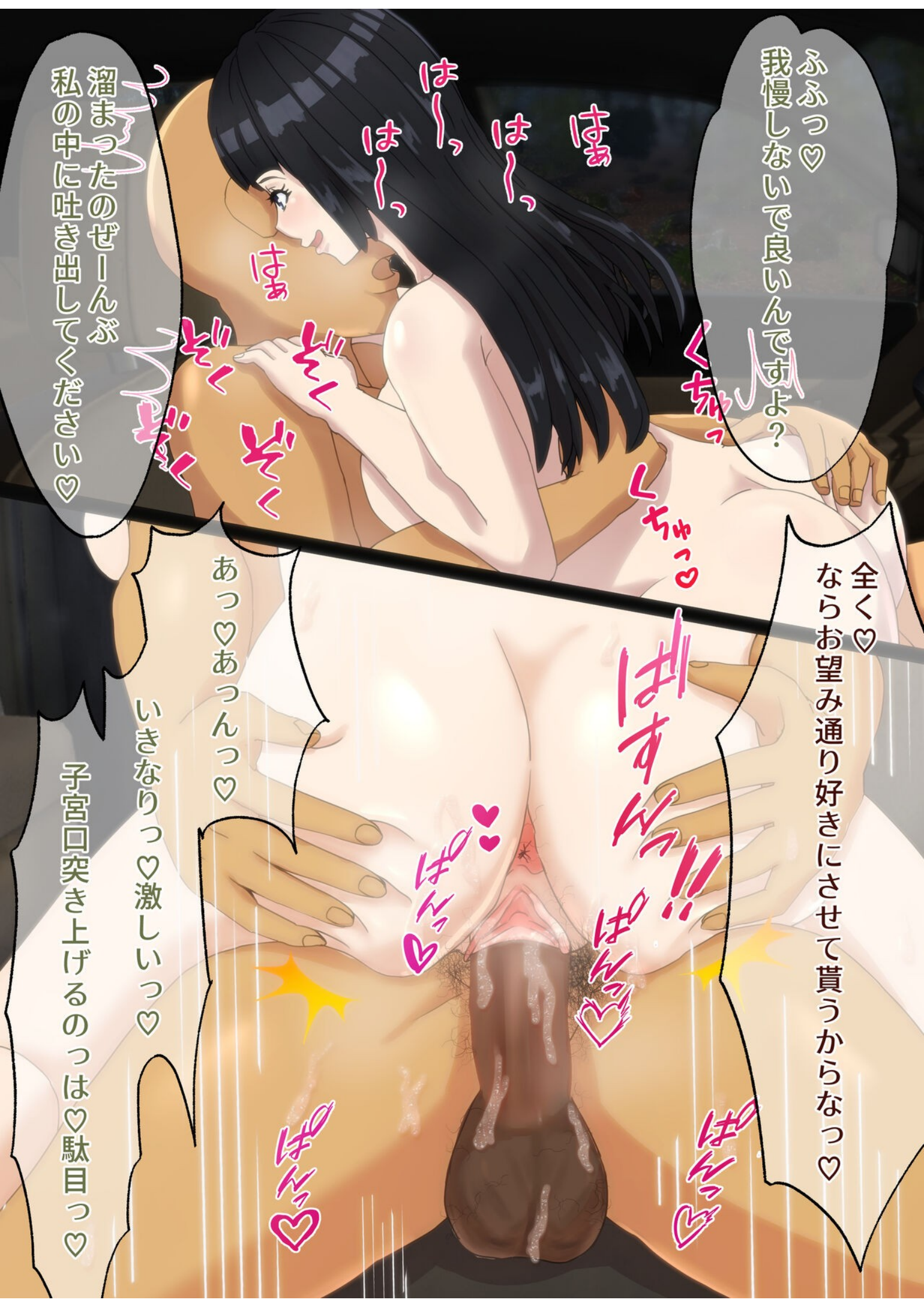
はっす
んっ！！

はっんっ♡

はっんっ♡

はっんっ♡

はっんっ♡



くそっ！くそっ！

イラ...

画面の中の出来事は既に起こってしまつた事実だ

どんなに望んでも止めることはできない

クソクソ



はっ♡

好き♡♡

好き♡♡

はっ♡

義雄さん♡♡

義雄さん♡♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

グワッ♡♡♡♡♡

グワッ♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

絡み合う2人は貪るように互いの身体を求め合っていた



♡♡♡♡♡

普段の温厚な姉さんからは考えられないような
激しい動きで腰を振っている

射精してっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

射精してっ♡

パンッ♡

パンッ♡

パンッ♡

パンッ♡

その度に打ち付けられた尻から
パンパンツと肉のぶつかる音が響いた

せめて姉さんが親父の
性処理に使われているだけ
なんだと思いたかったが
気持ち良さそうに喘ぐ姿
がそんな事はない事を証明
していた

ああっ♡

グイッくっ♡

ぞくぞく

イクっ♡

イクっ♡

ぞくぞく

ああっ♡

やっぱいい♡
上がってくるッ

びーん

びーん

びーん

悔しくて悲しくて
どうしようもないのに

それでも俺のチンコは
勃起していた

情けなくも2人の情事が
激しさを増すのに合わせ
て、俺もチンコを激しく
擦り上げる

もう…射精そうだ

射精すぞっ♡
射精るっ♡
射精るっ♡

はっ♡
はっ♡

かゅ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

ああ♡

んっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

キテっ♡

キテえっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



イクイクイク
イクイクイクっ♡

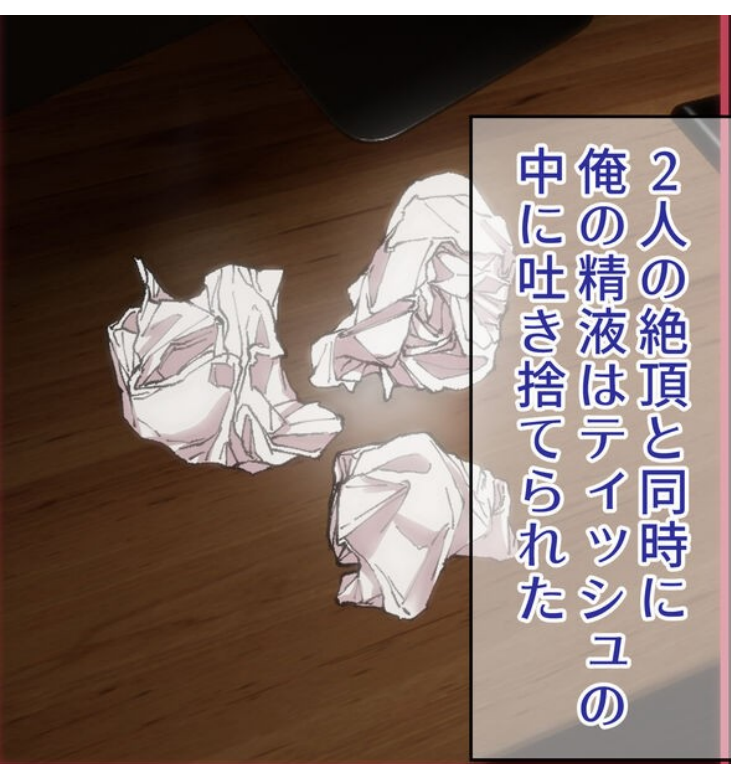
ハハハ♡
ハハハ♡
ハハハ♡

ああ…
ああっ♡

ハハハ♡
ハハハ♡
ハハハ♡

ハハハ♡
ニハハ♡
ヒハハ♡
びゅるっ♡

ハハハ♡
ハハハ♡
ハハハ♡



2人の絶頂と同時に
俺の精液はティッシュの
中に吐き捨てられた



画面の中で見つめ合い
余韻を味わうように
唇を重ねる二人…



対象的に射精後の
賢者タイムの中で
一人モニターを眺めて
いる自分が酷く
虚しくて惨めだった